

平成15年度アマノリ養殖概況

團 昭紀

10月下旬から育苗が開始され、11月上旬には冷蔵入庫がほぼ終了した。15年度の育苗は順調に推移した。本養殖は、ほとんどの漁場で11月下旬に単張りが始まったが、12月に入りアカグサレ病により品質に影響がでた。1月末からは冷凍網への張り替えが始まったが、栄養塩の低下により張り替えを見合わす地域も出た。また、県南部の地域では本年度の生産を早々と切り上げところもでた。3月に入っても栄養塩の回復はなく15年度は過去にない大きな色落ち被害となった。この原因としては、12月下旬から2月中旬までのほぼ2ヶ月間、ほとんど降雨がなく栄養塩の供

給源が減少したにもかかわらず、浮遊珪藻（ユーカンピア）の大量発生により栄養塩の消費により、ノリの色落ち限界以下になった期間が長期間続いたためである。

1 平成15年度漁場環境状況

「海域藻類養殖漁場環境調査」のとおり。

2 平成15年度漁期の共販結果

図1に平成15年度、14年度の月別徳島県漁連共販枚数を示した。年開け以降、栄養塩の低下により枚数が前年に比べ大幅に落ち込んだ。図2に年度別共販枚数と平均単価の推移を示した。

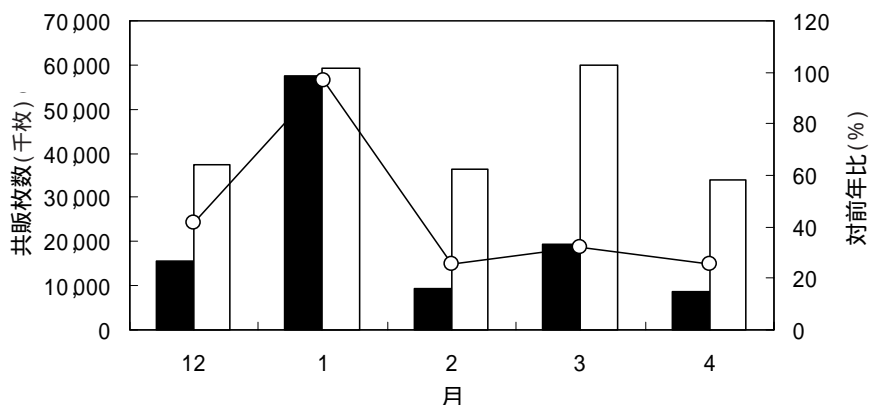


図1 月別共販枚数の推移。 ，平成15年度； ，平成14年度； ，対前年比

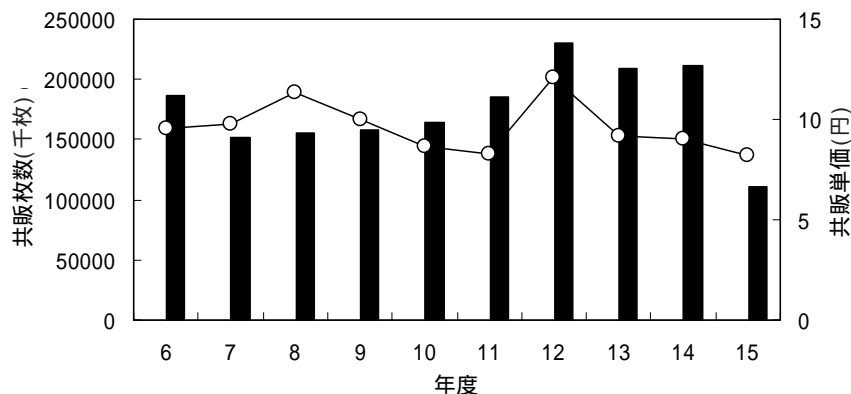


図2 年度別共販枚数と平均単価の推移。 ，共販枚数； ，共販単価